

## 地区の活気とレジリエンスをプランニングする: 日本の都市から学ぶ

**参加対象学部/学科/専攻** システム理工学部 環境システム学科

**参加対象学年** 学部) 4年 修士) 博士)

**本学担当教員(学部)** 中村仁(環境システム学科)、増田幸宏(環境システム学科)

**開催国** 日本

**プログラム実施期間** 開始日) 6月3日 ~ 終了日) 6月10日

**共同実施校1** マレーシア科学大学 国名) マレーシア 参加学生数) 24人

**共同実施校2** 国名) 参加学生数)

**共同実施校3** 国名) 参加学生数)

**共同実施校4** 国名) 参加学生数)

**芝浦工業大学参加者数** 参加学生数) 12人

### 【報告】

芝浦工業大学の大宮キャンパスを拠点として、マレーシア科学大学(USM)の都市・地域計画課程の学部生(24名)、環境システム学科の学部4年生(12名)との混成メンバーによる6グループを形成して、ワークショップ形式でプログラムを実施しました。プログラムでは、東京圏を対象に、都市の活力とレジリエンスをテーマとした現地視察を複数地区(豊洲、台場、有明、浅草、曳舟、岩淵、新田、川越、越谷レイクタウンなど)で行い、その知見をふまえて、東大宮駅周辺地区を対象として、重要課題の把握と課題解決のための空間計画の提案を行いました。

